

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	避難困難地域対策事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市地域防災計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 25 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 津波避難困難地域住民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	地域の避難場所として津波避難施設を設置し、津波発生時に安全かつ迅速に避難することにより、津波から命を守る。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	旧集会所と消防分団施設の解体撤去、本体新築工事の完成、外構と駐車場の整備。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		津波避難施設整備	工事の発注	工事の完成	/	/	/	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	里浦町南部地区津波避難複合施設の新築工事					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 地元関係団体等との協議	○	○	/	/	/	
	2 工事	○	○	/	/	/	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	津波避難施設整備	本体工事着手	本体工事	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)	/	-	-	-	-	%
今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況		-			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	3,900	0	0	0	12,950	16,850
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	81,973	5,000	61,600	0	3,977	152,550
		全体予算額	85,873	5,000	61,600	0	16,927	169,400
		決算額	85,873	5,000	60,000	0	14,180	165,053
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.2	0.0		1,427		166,480	

事業費推移	年 度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	56,917	165,053			
	うち一般財源	22,690	14,180			
	人件費	1,372	1,427			
	総事業費	58,289	166,480			

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		里浦南防災センターが完成したことにより、津波避難場所が確保された。
	効率性	A:効率的だった		地元説明会を適宜開催し、住民意見を反映させながら効率的に事業を進捗させることができた。
②成果に対する評価	指標名	津波避難施設整備		里浦町南部地区の避難困難地域の解消をもって、市内の避難困難地域が解消された。
	目標	工事の完成	—	
	実績	本体工事	—	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		事業スケジュール通り工事が完了し、津波避難場所が確保されたため、A評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度				
	H30年度				